

本年度を締めくくる行事(委員会引継ぎ式・6年生ありがとうの会)が行われました

2月16日(火)「委員会引継ぎ式」、19日(金)「6年生ありがとうの会」が続けて行われました。

今年の「委員会引継ぎ式」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4・5・6年生だけが参加という少し寂しいものとなりました。

式では6年生現委員長から5年生新委員長候補へエールを、5年生新委員長候補から来年への決意の言葉を贈り合いました。その様子を座って見ていた4年生の子どもたちは、来年度6年生を支えて活動を頑張っていくことを改めて心に誓っていました。

今年の「6年生ありがとうの会」は、コロナの影響で体育館に一堂に集まることができませんでした。しかしその分「どうやって思いを伝えようか」を一生懸命考え、それぞれの学年が工夫を凝らして取り組みました。それは非常に感動的で、素晴らしい会となりました。

今回の会を中心となって計画・準備してくれたのは5年生です。当日の真剣なまなざしや、仲間と声を掛け合っただけでプログラムを進める姿からは、「私たちが頑張らなくては！」というリーダーを引き継ぐ覚悟が伝わってきました。



1年生は、大人気の鬼滅の刃にでてくる「全集中の呼吸」で6年生のすごさを大きな声で伝えました。「中学校に行っても神戸小学校を忘れないでね。」との想いを込めて、歌をプレゼントしました。「ありがとう」の気持ちが伝わるように1つになることができました。そんな1年生の姿を6年生は温かく見守ってくれていました。

2年生は、6年生が「ワンチーム」になって答えられるクイズを作って楽しんでもらいました。ナレーター、物語の音読、イントロクイズ、神戸小クイズ、宝探しなど、それぞれの役割を楽しみました。6年生と一緒に過ごすことができ、とても嬉しそうでした。

3年生は、「チョコちゃんに叱られる」のダンスを6年生に披露しました。6年生も一緒に踊ってくれました。次に6年生の門出として、編曲した富士山の曲をリコーダーで演奏しました。終わるとたくさんの拍手をもらい、嬉しそうでした。



4年生は、「6年生を笑顔にしたい。そして感謝の気持ちを伝えたい。」という思いで出し物を披露しました。6年生も巻き込んで一緒にパフォーマンスをしたり、感謝の気持ちを込めた替え歌を歌ったりと、自分たちの思いを十分に伝えることができました。

5年生は人気バラエティ番組とCMを神戸小バージョンにアレンジして再現しました。6年生が、クイズ番組の珍回答に笑ったり、「中学校」を宣伝するCMでの全員の歌と呼び掛けに、目をうるませたりする姿を見て、5年生は、「想いが届いたと思う」と喜んでいました。

主賓である6年生は、各学年の工夫された出し物や感謝の気持ちが綴られたメッセージカードのプレゼントをととても喜んでいました。



6年生はお返しとして、各学年への感謝の気持ちを込めて作製した「ピタゴラスイッチ」を収録した動画と、「手作りピタゴラゴール」をプレゼントしました。また、5年生が制作した思い出スライドショーを見てみんなで大いに盛り上がりました。

校内のあちこちに、6年生の卒業を祝い、感謝の思いを伝える掲示が飾られました。